

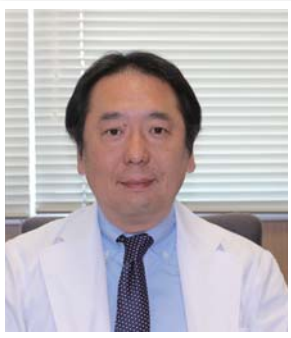
神戸医療センター 病診連携だより

編集・発行：独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター

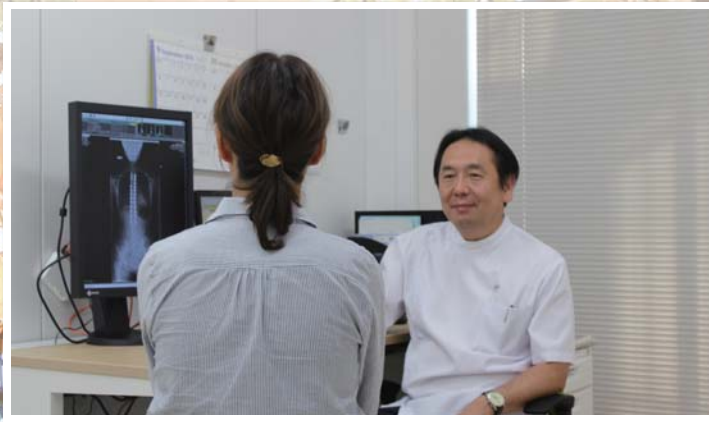
〒654-0155 兵庫県神戸市須磨区西落合3丁目1-1 TEL 078-791-0111

脊椎側弯センター開設のお知らせ

神戸医療センター副院長・整形外科 宇野 耕吉



本年9月より当院2階に脊椎側弯センターを開設いたしました。当センターでは側弯症や後弯症、小児脊椎疾患の初診患者さんや術後患者さんの診療を火曜日を除く午前中に、側弯症の保存治療を行っている患者さんの診療を夕方からの側弯症外来（月～金）で行っています。また隣にはギブス・外来処置室をもうけ外来患者さんのギブス巻き、側弯装具の型取り、褥瘡の処置、人工肛門のケア等を行っています。成人の脊椎疾患や関節疾患、骨折などは、従来通り1階の整形外科外来で対応させていただきます。整形外科外来診療を希望される患者さんは、まず1階の整形外科外来受付に受診ください。係の者がどちらで診療をさせていただくかご案内いたします。



整形外科・外来診療担当医表

整形外科		月	火	水	木	金
1F外来	一診(初診)	川北	乾	藏川	堂垣	鈴木
	二診(再診)	鈴木	川北		乾	堂垣
	三診(再診)	藏川	骨粗しょう症外来			
脊椎側弯センター(2F)	午前診	宇野		宇野	宇野	宇野
	午後診	側弯担当医	側弯担当医	側弯担当医	側弯担当医	側弯担当医

整形外科ご受診希望の患者さんのご依頼は、診療情報提供書を当院地域医療連携室までFAXして下さい(078-795-6591)。係の者より、原則30分以内に予約日時をお知らせいたします。

新任医師のご紹介

循環器科医長 小林 憲恭



はじめまして。兵庫県の西の端、忠臣蔵の町、赤穂から7月に赴任してきました。前任地では、心肺蘇生して緊急カテーテルといった超急性期から心不全の終末期まで、幅広い医療に携わってまいりました。その中でも特に睡眠時無呼吸症候群に力を入れてきました。窒息に伴う交感神経興奮が心筋梗塞や脳卒中の発症に深く関与するためです。前任地では、紹介して下さった先生に恥をかかせない。患者様は必ず帰す、ということをしっかり守って病診連携を信頼していただけるように頑張っただけです。睡眠時無呼吸症候群の患者様も、それ以外の疾患は必ず紹介元で診ていただくようにしております。難治性高血圧、夜間頻尿の患者様に睡眠時無呼吸症候群が隠れております。皆様のご支援をよろしく願いいたします。

産婦人科専修医 武田 晃子



はじめまして。7月より産婦人科で勤務させていただいております武田晃子と申します。平成24年に島根大学を卒業後、三田市民病院と神戸大学病院で初期研修を行いました。平成26年に神戸大学産婦人科に入局し、大学で勤務した後、神戸医療センターに参りました。まだまだ未熟者で、御迷惑をおかけすることも多々ありますが、地域の医療に貢献できるように精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

形成外科新設のご挨拶

形成外科部長 輪湖 雅彦



はじめまして。本年4月付で当院に形成外科が新設され、同じ国立病院機構グループに属する千葉医療センターから赴任して参りました輪湖(わこ) 雅彦と申します。前任地でも、8年間形成外科の責任者をしていました。

形成外科は皮膚や皮下組織の外傷や腫瘍、変形などの治療、再建を対象としています。同じ傷を治すにもできるだけきれいなかたち、目立たない傷跡で治すというマインドで治療に当たっています。

顔の外傷や、皮膚・皮下の良性腫瘍(母斑、粉瘤、脂肪種など)の切除においては、各種局所皮弁の利用や縫合時の注意により、できるだけ傷跡を小さく、目立たないように仕上げるよう心がけています。また、そのためには手術時とおなじくらい術後のケアも重要ですが、当院では術後のテーピング材の選択にも注意を払いつつ、患者さんのご希望によっては長期のフォローアップも行い、より目立たない傷への仕上がりを目指します。

褥瘡などの治りにくい傷に対しても当院の認定専門看護師や皮膚科と協力しながら、除圧マットレスの選択や栄養面での指導も含めて、まずは治癒に適した状態にして、保存的治療での在宅あるいは入所中の施設での治癒を目指しますが、手術の適応のある方には必要に応じて入院していただいた上、専用の機器を用いた陰圧閉鎖療法や手術も選択して治療を行います。

外傷・手術や熱傷などによる傷跡(ひきつれ・肥厚性瘢痕・ケロイド)に対しても保存的・手術的方法を組み合わせ治療を行っています。

そのほか加齢に伴う眼瞼の下垂や皮膚弛緩、巻き爪・陥入爪などにもできるだけ侵襲の少ない方法で対応しております。

皮膚科以外にも院内の他科と密接に連携しつつ、地域のみなさまに形成外科として貢献していけるよう努力していく所存です。お気軽にご紹介、あるいはお問い合わせいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

皮膚科の新しい診療体制について

皮膚科医長 山本 篤志



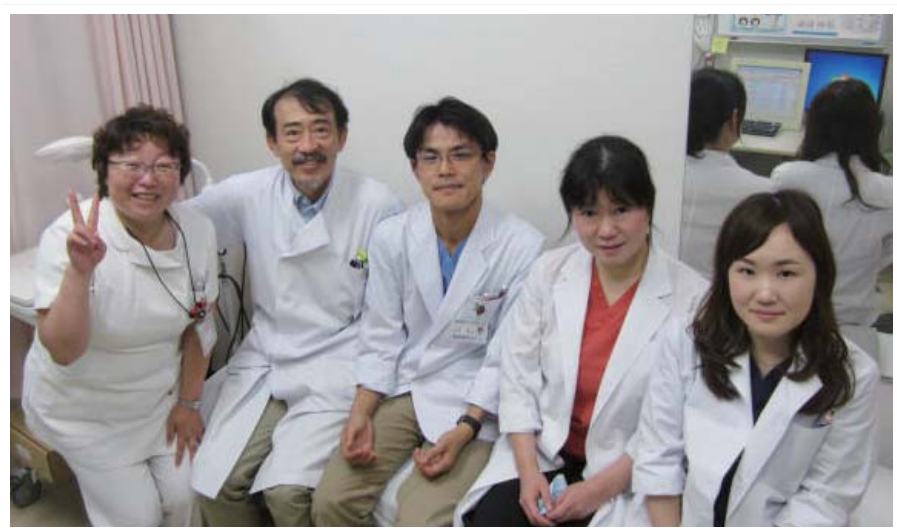
皮膚科は常勤医3名で、そのうち2名が4月より赴任して参りましたので未だ不慣れな部分もありますが、地域の基幹病院として手術や入院が必要な患者さんを積極的に受け入れておりますので、皮膚に関連することであれば何なりとご相談ください。

手術は、基底細胞癌やボーエン病、有棘細胞癌などの悪性腫瘍や粉瘤、母斑などの良性腫瘍を対象としております。キズ痕をできるだけ目立たないように心がけております。術後に形成が必要な患者さんは形成外科と共同で手術を行っております。入院は、手術症例以外に蜂巣織炎、带状疱疹、薬疹などの症例が多いです。

当科のトピックといたしましては、5月より専門外来としてアレルギー外来と漢方外来を創設いたしました。アレルギー外来では、薬疹などのアレルギー疾患を対象にパッチテストやプリックテストを行っております。歯科金属などの金属アレルギーの精査も行っております。光線過敏症や光線過敏症型薬疹の精査で光線テストも行っておりますので該当する症例がありましたらご紹介いただきたく存じます。

漢方外来は、皮膚科の中では大変珍しいと思いますが、昨今、皮膚疾患で漢方薬を希望される患者さんが増えており、その需要に答えるために専門外来をつくりました。通常の診察に加え、漢方医学的診察（舌診、脈診、腹診など）を行い西洋医学的な診断に該当する“証”を決定して治療を行っております。漢方専門医でもある山本が担当しております。主な対象は、皮膚疾患で標準治療を行っても難治な症例や、副作用等で西洋学的治療を受けられない症例などです。皮膚科疾患以外でも標準治療と並行しながら漢方治療も希望される患者さんがおられましたらご紹介いただきたくお願い申し上げます。詳細はホームページ

(<http://www.kobemc.go.jp/bumon/hifuka/hifuka.html>) に記載しておりますのでご参照ください。



神戸医療センター 形成外科・皮膚科スタッフ

(左より、中山副師長（皮膚排泄ケア認定看護師）、輪湖形成外科部長、山本皮膚科医長、内村皮膚科医師、松野皮膚科医師)



「薬剤師外来」を設置しました

副薬剤部長・医薬品情報管理室長 續木 康夫

○概要

手術施行患者さんに対して薬剤師による入院前介入の実施要望があり、薬剤師外来のブースを設置して頂きました。手術件数が多い整形外科を対象に平成27年7月27日より運用を開始しました。薬剤師による面談実施により、医薬品に関する患者さんの情報を聴取すると共にパンフレットを用いて観血的処置前に休薬を要する医薬品について、患者さんが明確に理解できるように努めています。その他の薬剤師外来の用途として、抗がん剤などの医薬品に対する外来患者さんへの説明や母乳育児相談などに利用させていただいております。

○手術前患者さんの運用

1. 手術が決定すると外来看護師が薬剤師外来を電子カルテ上で予約し、患者さんへ予約票を交付します。担当薬剤師が、面談を行います。

〈面談の内容〉

- ・薬歴情報（持参薬）、一般薬、サプリメント、副作用歴、アレルギー歴、コンプライアンスの状況、ワクチン接種、自己管理の有無を聞き取ります。
 - ・パンフレット*1「手術を予定されている患者様へ」、に中止すべき薬剤の名称・その中止期間を記載し、パンフレット*2、「必ず確認してください」を交付し説明します。
2. 面談内容を記録報告し、医師・看護師等に患者さんの情報を共有します。
 - ・記録：インタビューを電子カルテに入力します。新たに開始されている薬剤があれば、鑑別報告書を作成し、電子カルテに送信し添付します。
 - ・報告：作成した鑑別報告書を専用ファイルにいれ、外来看護師へ交付します。
 3. 手術前1カ月以内に新しく服薬される場合は、患者さんに病院まで連絡をしていただきます。
 4. 手術予定日の前週に薬剤師により介入状況と使用薬剤を電子カルテより確認し、確認漏れを防ぎます。



※患者さんには掲載への同意は得ております



*1

手術をご予定されている患者様へ
手術を安全に行うために、服用を一時中断する必要がある薬があります。

薬剤名	中止期間
...	3日前
...	2日前
...	1日前
...	3日前
...	2日前
...	1日前

この中止期間は、当日で復元している薬です。
以上のお薬は、必ず主治医にご相談ください。

手術の前にあらかじめ中断しておく必要がある薬の例

- 血をさらさらにする薬
- 血圧をよくなる薬
- 女性ホルモンの薬
- 一部の骨粗鬆症の薬
- 一部の健康食品・サプリメント

※服用を中断する必要がある薬をのんでいた場合、手術が遅れる場合があります。
※服用を中断する期間は薬によって異なります。
ご確認させていただいた薬やサプリメント以外で薬にのみ他なるものがある場合、おくりし手帳またはおくりし記録簿を当院整形外科までASKしてください。
ご不明な点があれば当院整形外科または薬剤師までお問い合わせください。

国立病院機構 神戸医療センター 整形外科 薬剤師
06-678-7911(内線) 4642078-7911(外線) 薬剤師科

*2

必ず確認して下さい
手術・検査が中止・延期となる可能性のあるお薬があります。

手術や検査を予定されている方は、その前に服用を止める必要がある薬があります。

例えば、抗凝固剤、血圧ささらの薬、種類によって様々ですが1〜7日間休薬します。
ホルモン剤(ビルは4週間休薬します、骨粗鬆症(女性ホルモンに関する薬)は3日間休薬します。

飲んでいる薬の名前(病院でもらっている薬・市販薬・サプリメント)を確認しますので、必ず全て教えて下さい。

また、市販の痛みどめ・風邪薬・サプリメントなどの頓服薬でも手術・検査が延期・中止となる場合がありますので、手術・検査の1週間前から服用する場合は、服用前に購入薬局の薬剤師や、診療科窓口にお問い合わせください。

手術の種類についてこの1カ月以内に手術の種類が変更された方及び予定のある方は必ず診療科窓口にご相談してください。

神戸医療センター 電話番号: 066-644-6110(内線)



「キッズ外科手術体験セミナー」を開催致しました！

外科医長 松田 武



平成 27 年 8 月 22 日、当センターにおいて、須磨区の小学 5、6 年生を対象に、「キッズ外科手術体験セミナー」が開催されました。子供たちに、外科手術や医療を少しでも身近に感じてもらう、体験してもらおうと考え、昨年度から練っていた企画です。当日は、21 名の小学生に加え、ご父兄の方々も多数参加いただき、大変盛況なセミナーとなりました。

まずは開会式で森田瑞穂院長からご挨拶をいただき、その後、当センターの外科医師から注意事項の説明とセミナー講義を行いました。学校や塾とは違う講義内容に緊張気味の子供達でしたが、術衣に着替えたあたりからテンションが上がり始め、記念撮影も和気あいあいで行われ、いよいよ体験セミナーです。

今回、「腹腔鏡体験トレーニング」「手術縫合体験」「シミュレーター体験」「最新医療機器体験」「自動縫合器・吻合器体験」の 5 つのセミナーを用意し、それぞれ 15 分ずつ計 75 分にわたって体験してもらいました。開会式では緊張気味だった子供たちも、少し難しいかなと思われるセミナーに、一生懸命に取り組み、克服しようとする姿が大変印象的でした。驚いたことは、テレビモニターを見ながらの腹腔鏡手術トレーニングや、両手を使う操作に馴れるのが非常に早いことです。これは昔と現代では生活環境がかわっているからなのかもしれません。また、指導する医師の説明に対して、子供たちだけでなく、保護者の方々も真剣に耳を傾けてくださり、説明にも一段と力が入りました。

5 つのセミナーもあっという間に終了しました。窮屈だった術衣を脱ぎ、お友達やご家族と話をしている子供たちの顔は、やり終えた充実感・解放感からでしょうか、開会式の時と違って、非常に満足そうでした。閉会式では記念写真とともに修了証を森田院長より一人一人に手渡され、岩崎統括診療部長からの挨拶で終了となりました。

当センター初の試みであり、昨年度の企画立案の時点から成功するか不安でしたが、事務職スタッフ、看護職スタッフ、外科系若手医師達、そしてこのセミナーの趣旨に賛同いただき、ご協力いただきましたエチコン、アダチの方々のお蔭で無事終わることができました。深謝申し上げます。

このセミナーを通じて、一人でも多くの子供たちが医療への関心を高め、将来の自身の進路を決定する一助になればこれ以上幸せなことはありません。また、地域の方々に当センターを身近に感じてもらう場として、今後もこのセミナーを継続できればと思います。



外来診療担当医表

診療受付時間 8:30~11:00

(平成27年10月1日現在)

		月	火	水	木	金	備考
内科	一診(初診)	[内科] 清水 一也	[消化器科] 末廣 逸夫	[内科] 三輪 陽一	[消化器科] 宮崎 博之	[循環器科] 清水 雅俊	呼吸器科は金曜日休診となります
	二診(再診)	[循環器科] 衣笠 允雄	[循環器科] 小林 憲恭	[消化器科] 中山 文仁	[内科] 高峰 佐智子	[消化器科] 田坂 勝規	
	三診(再診)	[内科] 福地 貴彦	[消化器科] 谷岡 洋明	[循環器科] 清水 雅俊	[消化器科] 三田 正樹	[循環器科] 岡田 武哲	
	四診(予約)	[消化器科] 三田 正樹	[消化器科] 宮崎 博之	[循環器科] 岡田 武哲	[循環器科] 衣笠 允雄	[消化器科] 末廣 逸夫	
	五診(予約)	[消化器科] 末廣 逸夫	[消化器科] 酒井 太門	[内科] 清水 一也	[内科] 三輪 陽一	[消化器科] 宮崎 博之	
	六診(予約)	[呼吸器科] 原 夏美	[呼吸器科] 土屋 貴昭	[呼吸器科] 原 夏美	[呼吸器科] 土屋 貴昭	[循環器科] 小林 憲恭	
	七診(予約)	[消化器科] 中山 文仁	[内科] 三輪 陽一	[循環器科] 第1,3,5週: 鈴木麻希子 [消化器科] 第2,4週: 賀来 英俊	[循環器科] 伊藤 泰子	[消化器科] 第1,3,5週: 博哉 [循環器科] 第2,4週: 向井 淳	
	予約診	[消化器科] 朝治 直紀	[内科] 高峰 佐智子	[神経内科](午後診) 上中 健		[消化器科] 谷岡 洋明	神経内科は予約制
心療内科・精神科		休診	休診	竹内 克史	毛利 健太郎	休診	予約制(継続の方のみ)
心理判定カウンセリング					伊藤 未青		
緩和ケア内科		山川 宣	山川 宣	山川 宣	山川 宣	山川 宣	完全予約制 (通院中の方のみ)
小児科	午前診	小林 明子	小林 明子	小林 明子	担当医	小林 明子	専門外来は午後から診察(予約制)
	午後診	心工コー	慢性疾患 小林	乳児健診	腎臓 小林		
消化器外科	一診	石田 潤	岩崎 武	岩崎 武	前川 陽子	岩崎 武	
	二診		平田 建郎	津川 大介		松田 武	
	三診		松田 武				
	四診			杉田 裕			
乳腺外科		前川 陽子 (原則予約・再診のみ)		前川 陽子	前川 陽子		月曜日は予約なしの初診患者さんは診察しておりません
整形外科	一診(初診)	川北 晃平	乾 義弘	蔵川 拓外	堂垣 佳宏	鈴木 哲平	側弯症外来、骨粗しょう症外来の担当医は当日決定します 手術のため、担当医を変更することがあります 水曜日は初診と予約(背椎側弯センター)のみの受付です。 側弯症外来は午後4時からとなります
	二診(再診)	鈴木 哲平	川北 晃平		乾 義弘	堂垣 佳宏	
	三診(再診)	蔵川 拓外	骨粗しょう症外来 (14:00-15:00)				
	背椎側弯センター(2F)	午前 宇野 耕吉 担当医 (16:00~17:00)	午後 宇野 耕吉 担当医 (16:00~17:00)	宇野 耕吉 担当医 (16:00~17:00)	宇野 耕吉 担当医 (16:00~17:00)	宇野 耕吉 担当医 (16:00~17:00)	
形成外科		休診	輪湖 雅彦	輪湖 雅彦(予約のみ)	休診(手術日)	輪湖 雅彦	午前中のみ
脳神経外科		高本 剛	休診(手術日)	高本 剛(初診のみ)	高本 剛	高本 剛	水曜日は初診のみ
呼吸器外科		第2,4週 田中 雄悟	休診	休診	法華 大助	休診	午後診のみ(予約制)
皮膚科	午前診	山本 篤志	内村 友佳	山本 篤志	休診(手術日)	山本 篤志	アレルギー外来、漢方外来は予約制となり、患者さんからの直接予約は受け付けておりません
	午後診	内村 友佳	松野 尚子	内村 友佳		松野 尚子	
泌尿器科		大岡 均至	休診(特殊検査)	大岡 均至	休診(手術日)	大岡 均至	
産科・婦人科	診察室1	武内 享介 (予約)	武内 享介 (予約)	杉本 誠 (初診・再診)	武内 享介 (初診・再診)	武田 晃子 (初診・再診)	火曜日、金曜日の受付時間は10時半までです
	診察室2	汁野 太郎 (初診・再診)	山下 詩乃 (予約)	午前: 汁野 太郎 (予約) 午後: 吉田 愛 (予約)	午前: 杉本 誠 (予約) 午後: 山下 詩乃 (予約)	吉田 愛 (予約)	
	産褥健診			吉田愛/山下詩乃 (15:30-16:30)			
眼科		藤岡 久美子	休診(手術日)	藤岡 久美子	中村 礼恵	藤岡 久美子	
耳鼻いんこう科	午前診	黒田 浩之 (手術)	寛島 ゆり恵	休診(手術日)		黒田 浩之 (初診のみ: 10時半まで)	
		寛島 ゆり恵 (初診・再診)	寛島 ゆり恵 (初診・再診)				
	午後診		特殊検査			特殊検査	
放射線科		本山 新	本山 新	本山 新	本山 新	本山 新	毎日放射線治療の依頼を受け付けます
放射線治療		森田 吉多佳	森田 吉多佳	森田 吉多佳	森田 吉多佳	森田 吉多佳	完全予約制
IVR・化学療法		森田 吉多佳 (午前のみ)	森田 吉多佳	森田 吉多佳	森田 吉多佳	森田 吉多佳 (午前のみ)	完全予約制 月・金曜日は午前のみ診察
CT・MRI診断		森田 瑞穂 本山 新	本山 新	本山 新	森田 瑞穂 本山 新	本山 新	月~金曜日 随時受付
						川北 晃平	



独立行政法人 国立病院機構

神戸医療センター 地域医療連携室

〒654-0155 神戸市須磨区西落合3-1-1

TEL : 078-795-6584 (直通) FAX : 078-795-6591

http://www.kobemc.go.jp

開室時間 月~金曜日 午前8時30分~午後7時00分 (祝日・年末年始を除く)

- 神戸市営地下鉄名谷駅から徒歩15分
- 神戸市営バス「神戸医療センター前」すぐ
- 山陽バス「神戸医療センター下」徒歩3分

